

◆巻頭言 地域住民参加型の手法を活用した直営施工方式の取り組み  
.....石川佳市 1  
大規模アスファルトフェーシングダム工事への情報化施工の適用  
—北海道電力京極発電所上部調整池建設工事—  
.....堀川明広・高野 準・江藤隆志 3

**グラビヤ—大規模塔上構造物建設向け「スリップアップ工法」の開発** 9

大規模塔上構造物建設向け「スリップアップ工法」の開発  
—関西電力舞鶴発電所 10 万 t 級石炭サイロ建設工事における適用例—  
.....河合勝実・加藤靖彦・中尾育廣・原田恒則・伊藤正己 11

高速ベルトコンベヤ式撒きだし装置による緑化ブロック内の基盤材充填  
方法—関西電力舞鶴発電所物揚げ岸壁緑化ブロック充填工事における適用例—  
.....山野達矢・石口真実・岸 研司・服部頼政 18

亀裂性岩盤を対象にした動的注入工法「ダイナプレス工法」の開発  
.....山本拓治・伊達健介・白井俊輔 25

廃棄物最終処分場の遮水シート破損箇所への補修工法「スプレッド工法」  
の開発.....宮本武司・大野文良・新宮康之 34

ウッドファイバーフィニッシュの開発  
.....松浦千秋・荒井義昭・多田勝俊 38

◆ずいそう パーソナリティー；「個」の力.....藤岡 純 30

◆ずいそう 転動あれこれ.....和泉 裕 32

社団法人日本建設機械化協会第 53 回通常総会..... 43

◆平成 14 年度社団法人日本建設機械化協会会長賞の決定  
会長賞  
・上向きシールド工法の開発と実用化  
.....大成建設株式会社/五洋建設株式会社/石川島播磨重工業株式会社 55

貢献賞  
・大型建設機械の健康管理システム (VHMS/WebCARE) の開発  
.....株式会社小松製作所 56

・大深度下での長距離・高速掘進シールドと地中接合.....関西電力株式会社/  
三菱重工業株式会社/株式会社小松製作所/鹿島・三井・青木・清水・  
戸田共同企業体/大成・佐藤・間・大豊・フジタ共同企業体 58

・爆薬遠隔装填システム—開発と実用化—  
.....株式会社熊谷組/旭化成株式会社/株式会社キヨモトテックイチ 59

奨励賞  
・マルチ・マイクロ・トンネル工法の開発.....株式会社小松製作所/  
鉄建建設株式会社/コマツアイエムエンジニアリング株式会社 61

・エアグラウトドリル工法用削孔機 (デュアルモードドリル) の開発.....日本道路公団 62

◆部会報告 高速鉄道第 4 号線八事北工区土木工事.....機 械 部 会 64

◆部会報告 若手機電技術者意見交換会.....建 設 業 部 会 68

◆新 工 法 01-07 カプセル空気輸送方式による垂直自動ずりだし工法 (鹿島建  
設)/05-57 自在ボーリングを用いた地盤改良工法 (CurveX (カーベックス) 工法)  
(鹿島建設・ケミカルグラウト)/11-76 工事の遠隔監視 IT 化システム (大成建設)  
.....調 査 委 員 会 72

◆新機種紹介 .....調 査 部 会 75

◆統 計 地域別建設投資の動向/建設工事受注額・建設機械受注額の推移  
(2002 年 5 月).....調 査 部 会 79

◆お知らせ (国総施第 16 号) 低騒音型建設機械の指定について/(国総施第 45 号)  
排出ガス対策型エンジンの認定及び排出ガス対策型建設機械の指定について (追  
加等)..... 85

行事一覧 (2002 年 (平成 14 年) 6 月)..... 96

編集後記.....(窪・矢仲) 100

◇表紙写真説明◇

ラチスブームホイールクレーン「MK 500」  
コベルコ建機株式会社

ラチスブーム式ホイールクレーン「MK 500」は、港  
湾/構内荷役作業の現場において主流となっているト  
ラッククレーンに替わる新しいクレーンとして開発した  
コベルコの新メニューです。コベルコの誇るラチスブ  
ーム (格子型) クローラクレーンと、ラフテレーンクレー  
ンで蓄積された技術を融合して開発したもので、ラチス  
ブームによる高い吊上げ能力とホイール式による高い機  
動性を両立させています。

主な特長

- (1) 効率の良いワンキャブマシン  
トラッククレーンと違い一つの運転席でクレーン作業  
と走行が可能なので、荷役作業と移動を頻りに繰り返す  
場合でも乗換えの必要がなく、港湾荷役/構内作業に最  
適。
- (2) 維持管理コストを低減  
クレーン作業と走行に対し二つのエンジンが必要なト  
ラッククレーンとは違い、一つのエンジンでクレーン作  
業と走行の両方を行うので、エンジンのメンテナンスな

どランニングコストのセーブが可能。

- (3) 移動が容易な機動性・安定性  
優れた安定性により、24 m 以下のブーム長さであら  
ば、ブーム水平での構内移動が可能。また、基本ブーム  
装備の状態公道走行が可能 (Max 15 km/h, 8.3 t カ  
ウンタウエイト分解時。意匠特許申請中)。さらに、公  
道走行姿勢のままドレーラ輸送が可能。
- (4) 港湾荷役に最適な吊上げ能力  
港湾荷役作業で重要な作業半径 10~18 m の範囲にお  
いて、クラス最大の能力を発揮。
- (5) 環境に配慮  
国土交通省の 2 次排ガス対策型建設機械、低騒音型建  
設機械に指定。

主な仕様

製 品 名	ラチスブームホイールクレーン
本 体 型 式	MK 500
最大定格総荷重	50 t×3.4 m
ブーム長さ	5.6×33.0 m
作業時質量 (基本姿勢)	44.1 t
エンジン定格出力	147 kW/2,150 min <sup>-1</sup>
最高走行速度	15.0 km/h